

みんなちがって あたりまえ でも 子育てに 不安を 感じる すべての方へ  
 子育て おうえん ちょっと 休憩しませんか？



## 「ミルクティー」

村松小学校特別支援コーディネーター 下田誉子

最後の温かくて甘いミルクティーをどうぞ。

甘いといいながら、甘くない号が多かったように振り返っております。

子どもたちは、千差万別。家庭も千差万別。当然育て方にもきまりなどはありません。ついつい、他の子と比べて、劣っていると思ったり、子育てが間違えてると落ち込んだりだれでもするものだと思います。ハーバード大学の心理学者ハワード・ガードナー博士が提唱した「多重知能理論」によると、子どものもつ知能の特性には8種類あるんです。子どもの特性を知り、どのようなやり方がわが子にとって勉強しやすいかというのはぜひ知っておくと良いと思います。

### お子様はどのタイプ？

①言語的知能	文章を書くことや言葉に興味がある。読書好き。
②論理・数学的知能	数量に興味があり、分析するのが好き。 科学的なことに対する理解が早い。
③空間的知能	言葉で説明されるより、絵や図、写真などビジュアル重視で説明されたほうが理解しやすい。
④音楽的知能	歌や楽器演奏が上手で、音を聞き分けられたり、メロディをすぐに覚えられたりする。本や教材を音読や歌にするなど、声に出すと学習がうまく運ぶ。
⑤身体運動的知能	実験や道具を使うなど、実際に手や体を動かしながら集中させる。
⑥対人的知能	1人でやるより他の人と一緒にやるほうがはかどる。
⑦内省的知能	1人でじっくり考え、困ったときも自分で解決できる。
⑧博物的知能	特定の物事に詳しく、図鑑好き。観察力がある。

発達症を疑い、病院で診断が出てがっかりすることは全くありません。

まずは、自分たちの子育てのせいではなかったと、安心することでしょう。

次は、お子様の全てを受け入れてあげてください。治そうとするのではなく、受け入れて、学校や周囲の環境をお子様に合わせて。そうすることで、子どもは安心して、持っている才能を発揮することができます。その才能を見つけ、育ててあげてください。

### 否定しない。全てを受け入れる。

発達症の診断がある子もない子も同じ。お子様の全てを受け入れて、否定せず、成長を助けてあげてください。

きっと素敵な未来が待っていることと思います。

最後のミルクティーの味は、いかがだったでしょうか。

これまでの御愛飲（読）ありがとうございました。感謝。

